

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(薬)乙 第35号	氏名	岸川 直哉
論文審査担当者	主査教員	黒田 直敬	
	副査教員	中島 憲一郎	
	副査教員	中山 守雄	
	副査教員	大庭 義史	
<p>・論文審査の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、大気汚染物質である多環芳香族炭化水素類の高感度かつ選択的な高速液体クロマトグラフィー (HPLC) 分析法を開発し、これらが大気粉塵および生体試料分析に適用し、その大気内動態や生体曝露を明らかにしようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 多環芳香族炭化水素類のそれぞれに最適なHPLC-化学発光あるいは蛍光検出法を構築し、それらの基本性能や信頼性を適切に評価、確認後、解析を行ったものであり、サンプリング手法も含めて研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 大気中の多環芳香族炭化水素、ニトロ多環芳香族炭化水素および酸化型多環芳香族炭化水素の測定結果を解析し、その大気内動態や発生源に関する考察を行った。また、ヒト母乳を始めとする乳試料中に存在する多環芳香族炭化水素の種類および濃度を明らかにした。これらの解析結果と考察内容は高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は分析科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			